キャンピングカーご 利 用 マ ニ ュ ア ル

【　エディ・リバティ　】

【　目　　次　】

■ ＡＮＮＥＸ　エディ・リバティ のご紹介　… Ｐ．２
■ 運転前のチェック必須項目・注意事項　… Ｐ．３
■ 外観と装備品の位置・サイドオーニング　… Ｐ．４
■ 運転席・各ドア・給油について　… Ｐ．５
■ スイッチパネル　… Ｐ．６
■ ＡＣ１００Ｖ電源（外部電源）・インバータ … Ｐ．７
■ ＬＰガスの使用方法　… Ｐ．８
■ ガス漏れ警報器　… Ｐ．９
■ ガスコンロ　… Ｐ．10
■ トルマヒーター・ボイラー　… Ｐ．11
■ リアヒーター・リアクーラー　… Ｐ．12
■ 給水・水周りの使用方法・排水方法　… Ｐ．13
■ シャワールーム・洗面台・ベンチレーター　… Ｐ．14
■ 水洗トイレ　… Ｐ．15
■ 冷蔵庫　… Ｐ．16
■ ダイネット　… Ｐ．17
■ リアベッド　… Ｐ．18

ミッション・レンタルギア

Mission Rental Gear

〒989-2448
宮城県岩沼市二木1-1-5

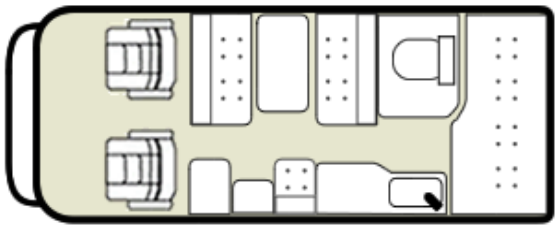
TEL：0223-29-4195
FAX：0223-29-4197

URL：http://mission-rg.com/camping/
MAIL：campingcar@mission-rg.com

ANNEX　エディ・リバティ　ご紹介

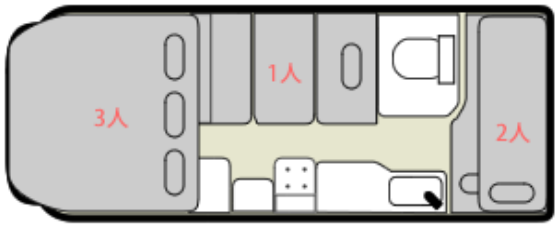
DAY　～　6名で乗車可能です

ベッド設置前　乗車定員:6名



NIGHT　～　6名が就寝可能です

ベッド設置後　就寝人数:6名



ゆったりリビングと設営不要のベッドスペース　“ 快適モーターホーム ”

車　両　諸　元

ベース車	トヨタ　グランドハイエース	乗車定員	６名
排気量	3,370 cc	就寝定員	６名
駆動方式	4WD	全　長	5．95ｍ
トランスミッション	フロアAT	全　幅	2．10ｍ
馬　　力	180	全　高	2．87ｍ
ハンドル	右	車両総重量	2,850 kg

主　要　装　備

運転席	エクステリア	電気設備	キッチン	リビング	安全装置
ＨＤＤカーナビ	サイドオーニング	集中スイッチパネル	２口ガスコンロ	脱着式テーブル	煙　警　報　器
カラーバックモニター	網戸付き窓/ドア	サブバッテリー	１２Ｖ冷蔵庫	ポータブルＴＶ・DVD	ガス洩れ警報器
Ｅ　Ｔ　Ｃ	ＬＰガスボンベ	走行充電システム	水栓付きシンク	上　部　収　納	一酸化炭素警報器
パワーステアリング	外部電源コード	100Vコンバーター	電子レンジ	バンクベッド	漏電遮断器
パワーウィンドウ	外部ＡＣコンセント	500Wインバーター	トイレ・バス	リアベッド	消　火　器
ラジオＡＭ/ＦＭ	給水タンク（66L）	1500Wインバーター	ガス式温水器	常設２段ベッド	
ＣＤ／ＭＤ	排水タンク（60L）	ＡＣ/ＤＣコンセント	収納付き洗面台		
カセットテープ	汚水タンク（20L）	ルーフベンチレーター	水洗カセットトイレ		
		リアＦＦヒーター	シャワールーム		

運転前の必須チェック項目

□ ＬＰガス器具の器具栓とＬＰガスボンベの元栓は閉められていますか？

□ 外部の水道ホースや電源コードが完全に収納庫に格納されていますか？

□ ベンチレーターや全ての外部ドアが閉められロックされていますか？

ご利用中の注意事項

車内は禁煙・土足厳禁（運転席・助手席以外）

皆さんに気持良く清潔にお使い戴くための基本ルールです。

車内での調理・食事のマナー

バーベキューや焼肉・焼魚など、汚れやにおいの付く様な調理・食事等は、必ず車外で行って下さい。
（※車内に著しい汚れ臭いが残っていた場合には、別途クリーニング料がかかることもございます。）

安全確保のために

駐車及び宿泊の時は必ず車のカギを抜き、サイドブレーキを引いて下さい。

車体サイズについての運転操作

車両の高さは２ｍ８７ｃｍ程、幅は２ｍ１０ｃｍ程ございます。
旅館・ホテルなどの玄関アプローチ・歓迎アーチやバルコニーなどに
車体屋根が衝突する場合がありますので、進入の際は相互の高さにご注意下さい。
また、道路沿いにある立ち木・看板・ミラーなど、左右の間隔にもご注意願います。

バック（後進）について

バック（後進）の際は、バックモニターをご利用の上、このカメラのみに頼らず、
事前に自分の目で後方確認をし、左右のサイドミラーも見ながら行うようにして下さい。
夜間や暗い場所などでは、補助者による誘導でのバック（後進）はより安全です。

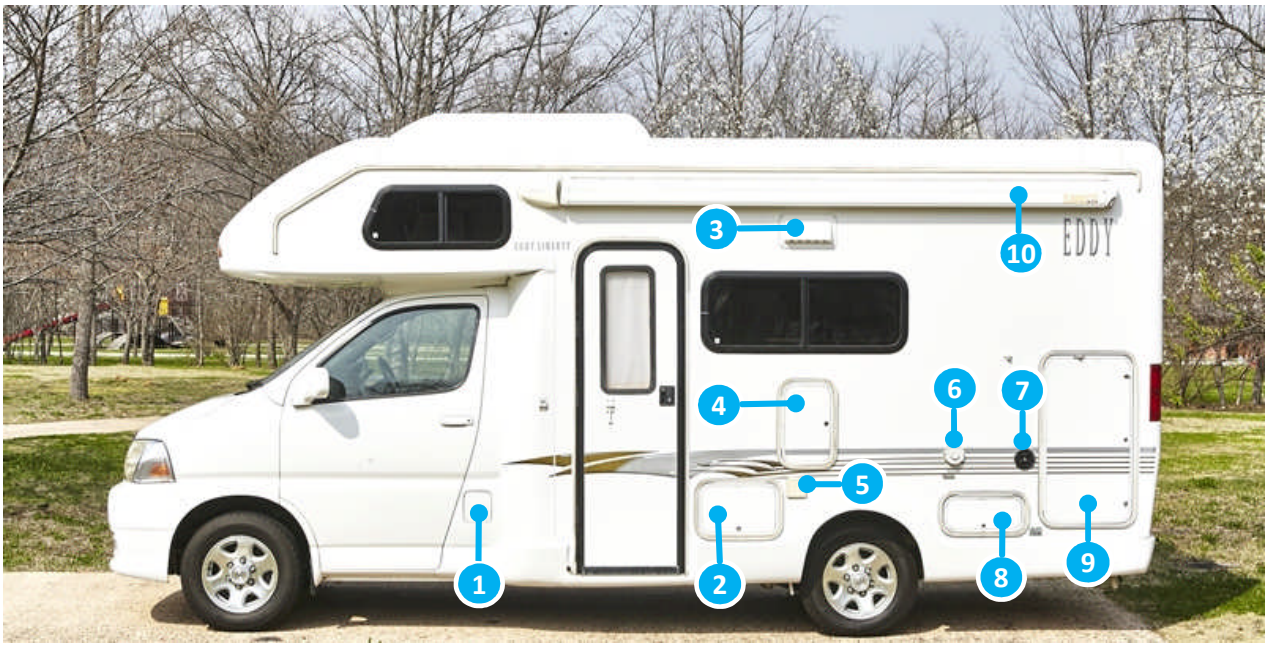
パンクしたときは

突然、タイヤがパンクしてしまったときは、急ブレーキをかけずに徐々に減速して下さい。
ハンドルをしっかり握り、安全な場所までゆっくり移動して下さい。
平らな場所に駐車し、エンジンを停止し、非常点滅表示灯（ハザード）をＯＮにして下さい。
スペアタイヤは車両後部の保管されています。（別紙マニュアルＰ．５３を参照して下さい）
（※パンク及びタイヤの損傷破損については、お客様の負担とさせて頂きます。）

装備品は、慎重にお取り扱いください

各設備は、別紙マニュアルを熟読の上、慎重にお取り扱い下さい。
車内外の各設備の損傷破損 （ 自動車事故に起因しない破損 ） については、
お客様に修理代を実費ご負担戴きます。
また、拭いても取れない目立つ汚れやシミ、残臭についても、クリーニング料をご負担戴きます。

外観と装備品の位置



① 給油口
② サブバッテリー点検庫
③ 換気扇給排気口
④ ガス庫（ガスコンバートメント）
⑤ 外部AC電源口
⑥ 冷蔵庫給排気口
⑦ 水タンク給水口
⑧ ボイラー点検庫
⑨ 後部大型収納庫
⑩ サイドオーニング

サイドオーニング

● 設 営 手 順

①オーニングハンドルは、後部大型収納庫内に収納していますので取出します。
②サイドオーニング後方端部のクランクにオーニングハンドルを差し込み、右に回します。
③オーニングを張り出したところで、オーニングカバー内側に収納してある両端の脚を外側にスライドさせます。
④脚を地面に立て、高さを調整してネジでロックします。
⑤張り出したところで、脚の高さを再度調整して脚下端部をペグでしっかり地面に固定して下さい。
⑥地面がアスファルト等の際は、ボディの固定金具に脚を固定して下さい。

ご注意ください！

● 最大出幅はゆとりの2.5mです。
風が強い時は、オーニングがあおられ飛び上がり故障・破損する危険がありますので、強風・豪雨の時は使用しないで下さい。
走行前には、オーニングが確実に収納されていることを確認して下さい。

運　転　席

右ハンドル・オートマチック車です。
【 装備品 】
・ＨＤＤポータブルナビ（見やすい８Ｖ型ワイド）
　〔地デジＴＶ（フルセグ・ワンセグ自動切換え）〕
・ＥＴＣ
・バックモニター（カラーで見やすいです！）

ワンポイントアドバイス

駐車場等に駐･停車する際は、出る時の事も考えて
駐･停車の場所を決めるのが賢明です。
前進で入って駐･停車して前進のまま出られる所が理想的です。

出入口ドア・その他ドア

●出入口のドアは、下記の3箇所です。※集中ロックではありませんので、各部で施錠して下さい。
①運転席　②助手席　③エントランス（助手席後部）

●用品の出入れが可能な扉は、下記の4箇所です。
④大型収納庫（左側後）　⑤大型収納庫（後部）　⑥小型収納庫（右側）　⑦シャワールーム

給油について

給油口は、助手席（左）ドア斜め下にございます。
燃料は、『レギュラーガソリン』、容量は75Lです。
異なる油種を補給すると、エンジンなどに悪影響を及ぼす恐れがあり、燃費も悪くなりますので、絶対に油種間違いのない様、ご注意をお願いたします。

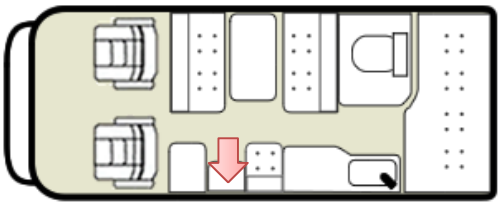
【満タン貸出＆満タン返却です！】

お帰りの際は、当店最寄りのガソリンスタンドにて
燃料満タンにして、ご返却下さい。

返却時には、補充された油種の確認をさせてただく為、
当店にて給油証明書（領収証）のご提示をお願い致します。
（油種間違いを起こされた場合は、修理にかかる費用全額
をご負担いただくことになります。）

スイッチパネル

（詳しい取り扱いは、別紙マニュアルP．１を参照）



集中スイッチパネルはエントランスドアの上部壁面にあります。

車内装備はサブバッテリーより電気を供給しています。
集中スイッチパネルには、各装備のスイッチが配置されています。

また、サブバッテリーの容量は残量計で常に確認できます。

● スイッチの説明

・給水タンク水量モニター（容量：66L）
・排水タンク水量モニター（容量：60L）
・サブバッテリー残量モニター（緑が良好状態です。赤は電子機器の使用を停止し、充電して下さい）
・メインスイッチ（車内電子機器全ての主電源）
① ダウンライト
② 室内灯（後方：2段ベッド、天井後部・円形蛍光灯、シャワールーム・ベンチレーター＆ライト）
③ 室内灯（前方：バンクベッド、天井中央・円形蛍光灯、右横蛍光灯、ベンチレーター＆ライト）
④ 水ポンプ（水の吸上げポンプです。シンク、トイレ、シャワーを使用する前にONにして下さい。）
⑤ ガス漏れ警報器、シガーソケット、インバーター
⑥ 冷蔵庫

● スイッチの使用方法

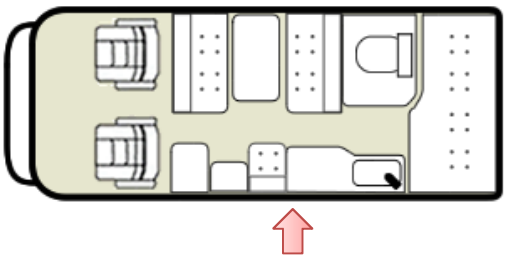
① 車内装備を使用する時には、初めにメインスイッチをONにします。
（家のブレーカーと同じ役割です。）
② メインスイッチをONにした後、各装備のスイッチを必要に応じONにして下さい。

ワンポイントアドバイス

長時間、車から離れる場合は、必ずメインスイッチをOFFにして下さい。
スイッチを消し忘れると、バッテリーが上がる可能性がありますので、十分にご注意下さい。

AC100V電源　（外部電源）

（詳しい取り扱いは、別紙マニュアルP．6を参照）



キャンプ場等、外部AC電源（AC100Vコンセント）を
利用できる環境の場合、こちらの方法をおすすめします。

① 車両外部左側にある外部AC電源口のカバーを上に開いて、
　車載のAC接続コードプラグを差し込みます。
② AC接続コードのもう1方を、現地の100Vコンセントに
　差し込みます。
③ 上記の操作によって、車内の100Vコンセントに通電し
　使用できるようになります。
　同時にオートマチックチャージャーが作動開始します。

※注意：1kw以上の電気を使用すると、安全の為、ブレーカー
　が自動的に切断されます。
　ブレーカーが切断された場合は、電気の使用量を確認して
　から、スイッチを入れて下さい。
　電気の使用量を減らしてもブレーカーが切断される場合は、
　使用を中止して下さい。

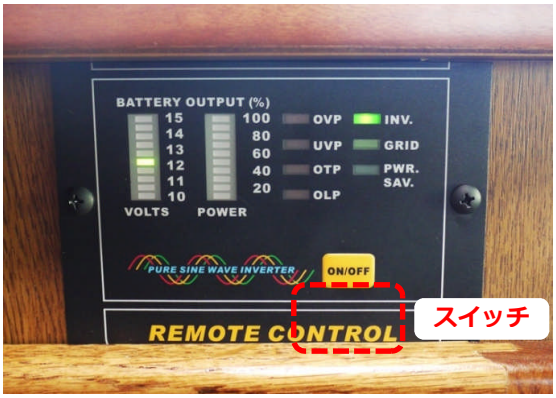
安全の為、ブレーカーは流し台下に設置してあります。
コンセントに通電しない時は、ブレーカーを点検して下さい。

インバーター

車内には2箇所、インバーターを装備しています。
使用の際は、メインスイッチを入れた後、⑤のスイッチをONにします。

① 容量５００W：助手席後部 （シューズボックスの背面）
　※スマートフォン、デジカメ等の充電、TV・DVD等。

使用の際は、中央のスイッチをONにして下さい。
ダイネットで使用の際は、付属の延長コードをご利用下さい。



② 容量１５００W：キッチン部 （ガスコンロ下部）
　※電子レンジ等、500Wを超える機器用です。

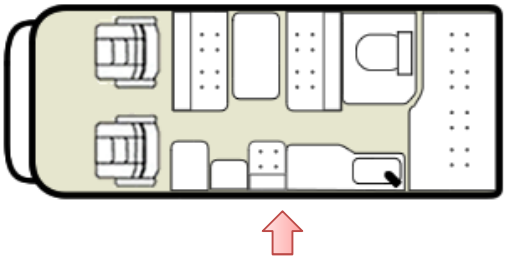
インバーターの本体は、シンク下の収納庫内に装備されていますが、操作コントローラーは、キッチンのシンク下壁面にありますので、通常はこちらで操作して下さい。
電子レンジを使用時に、スイッチをONにして下さい。
他の熱機器等は、シンク左角にあるコンセントに差し込んである電子レンジのプラグを抜いてから、ご使用下さい。

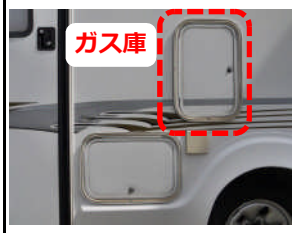
※使用機器によっては、最大出力時が2倍以上になる場合がありますので、700W以下の機器類の使用をお勧め致します。

ＬＰガスの使用方法

（詳しい取り扱いは、別紙マニュアルP．14を参照）

ＬＰガスボンベ





ガス機器の元栓　・　ガス漏れ警報器

横向き：閉

縦向き：開

ガスは必ず停車中のみ使用して下さい。
走行前には、必ずLPガスボンベの元栓が閉まっているかをご確認下さい。

●使用方法

① ガス機器 （ガスコンロ、ボイラー） のスイッチが全てOFFになっているか確認します。
② LPガスボンベは車両左側のガス庫内にあります。扉を開けてコックを開栓します。
③ ガス漏れ警報器スイッチをONにします。 （詳細はP.９参照）
④ ブザーが（ピッピッピ音）が約30秒程鳴った後、動作ランプが点滅します。（緑色）
（点滅中は、ガスシャットオフバルブが開いていることを示します。）
⑤ ガス機器 （ガスコンロ、ボイラー） の元栓は、流し台扉の内側にあります。ノブを横向きにすると開栓します。

ワンポイントアドバイス

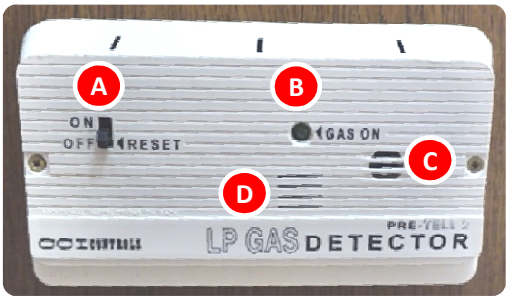
ガス器具の使用中は、ベンチレーター及び窓を開けて喚起して下さい。
但し、排気口近くの窓は閉じておいて下さい。

ＬＰガス警報器

（詳しい取り扱いは、別紙マニュアルP．7～13を参照）

ガス機器（ガスコンロ、ボイラー）使用時は、初めにLPガス警報器を始動させます。

●LPガス警報器：各部の名称と機能



A） RESETスイッチ
・電源スイッチ （ON・OFF）
・RESETスイッチ

B） 動作ランプ（緑色）
・点滅：バルブ（遮断弁） → 開
・消灯：バルブ（遮断弁） → 閉

C） 警報ブザー
・準備中：ピッピッピッ
・ガス漏れ時又はバッテリー低下時：ピーピーピー

※警報ブザー音の停止は、RESETスイッチをOFF。

D） ガスセンサ部

●使用方法

① 集中スイッチパネルにあるＡスイッチをONにします。 （詳細はP.6参照）
② LPガス警報器のRESETスイッチをONにします。
「ピッピッピッ」とブザー音が鳴っている間 （約30秒） は、警報器が作動状態に入る準備タイムです。
※この30秒間はガスが存在しても警報ブザー音は鳴りません。
※もし警報ブザー音「ピーピーピー」が続く場合は、RESETスイッチをOFFにしてから、再度ONにして下さい。
③ ブザー音が止まり、動作ランプが緑色に点滅します。この状態で常時ガス漏れ検知可能となります。
この緑のランプ点滅は、バルブが開いている状態も示しています。

●ガス漏れを検知した場合の対処法

④ ガス漏れを検知すると、ブザー音が「ピーピーピー」と鳴ると同時に動作ランプが消灯します。
これはバルブが閉じて、LPガスが遮断された事を示します。
⑤ ブザーが鳴っている時に、RESETスイッチをOFFにすると、ブザー音は止まります。
但し、バルブは閉じた状態を維持します。
⑥ 再度、RESETスイッチをONにすると、
・室内のガスが警報濃度以下になった場合：②の動作を繰り返し③の動作で動作ランプが緑色に点滅を始めます。
・室内のガスが警報濃度以上のままの場合：即④の動作となります。
⑦ LPガスを使用しない時は、RESETスイッチをOFFにしておきます。

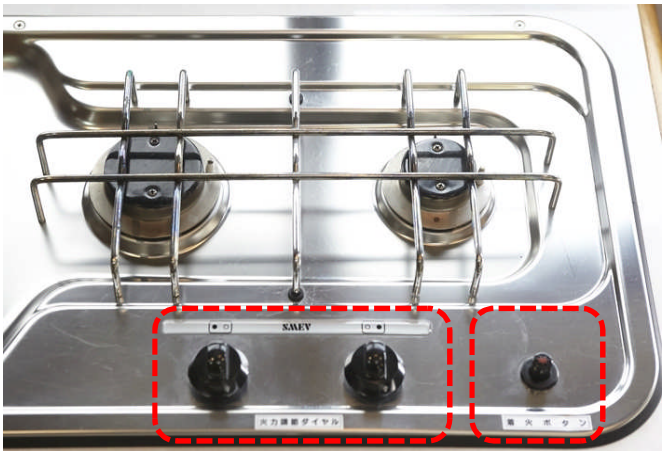
	無通電時	準備時（約30秒間）	作動時		バッテリー低下時
			通常時	ガス漏れ警報時	
動作ランプ表示（緑）	消灯	消灯	点滅	消灯	消灯
警報ブザー音	停止	ピッピッピッ	停止	ピーピーピー	ピッピッピッ
バルブ	閉	閉	開	閉	閉

ガスコンロ

（詳しい取り扱いは、別紙マニュアルP．27参照）

● **ガスの準備**　（詳しい手順は、P.8を参照して下さい）

① 外部のＬＰガスボンベの収納庫の扉を開きます。ＬＰガスボンベの元栓を開きます。
② ＬＰガス漏れ警報器のスイッチをＯＮにします。
③ ボイラーの元栓を開栓します。



火力調節ダイヤル　　着火ボタン

● **使 用 手 順**

① 着火する時は、火力調節ダイヤルを押し込んだまま炎（大）マークまで左に回し、
　着火ボタンを押し込みます。
② 着火したら、火力調節ダイヤルを５～１０秒押し続けます。
　炎が安定したことを確認したら炎の強弱をダイヤルで調節します。
③ 消す時は、火力調節ダイヤルをＯＦＦの位置にします。
④ ガスコンロ使用時は、上部に装備の換気扇を作動させて下さい。

ご注意ください！

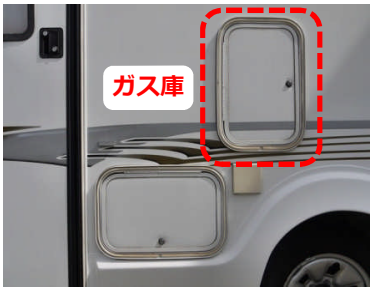
●走行中や燃料補給時は、ガスコンロは使用しないで下さい。
●使用中は、一酸化炭素中毒の原因となりますので、窓を開放するなどして換気に気をつけて下さい
●異常燃焼や、臭気、異常音が感じられたときや地震、火災など緊急の場合には、慌てずガスレンジの使用を中止し、ＬＰガスボンベの元栓を必ず閉めて下さい。
●漏れたガスを室外に放散させる為に、窓やドアを全て開放し、自然に換気が促進されるようにして下さい。
　ベンチレーター（換気扇）は絶対に使用しないで下さい。
　下方にあるガスが上方に流れて回る可能性があり、非常に危険です。

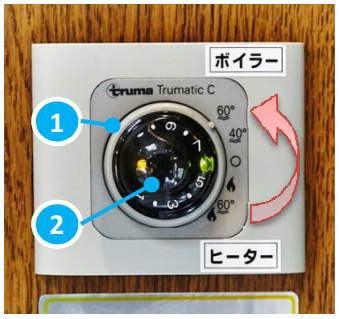
トルマヒーター・ボイラー

（詳しい取り扱いは、別紙マニュアルP．２９を参照）

● ガスの準備　（詳しい手順は、P.8を参照して下さい）

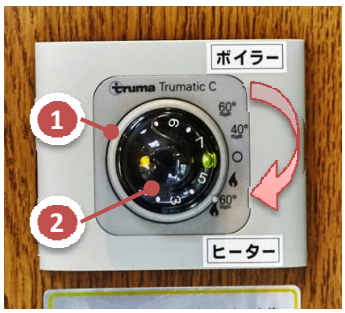
① 外部のＬＰガスボンベの収納庫の扉を開きます。ＬＰガスボンベの元栓を開きます。
② ＬＰガス漏れ警報器のスイッチをＯＮにします。
③ ボイラーの元栓を開栓します。





●ボイラーの使用方法

（コントロールパネル）
① 下の水温調整ダイヤル（グレー色）を反時計回りに回し、
　60℃または40℃のどちらか希望の温度に設定します。
② 上の温度設定ダイヤル（黒色）を回して、希望温度を調整します。



●ヒーターの使用方法

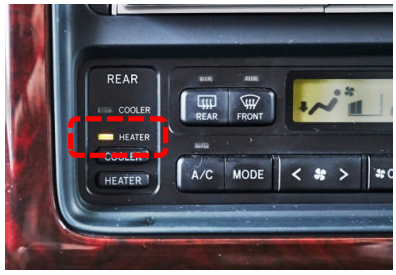
（コントロールパネル）
① 下の水温調整ダイヤル（グレー色）を時計回りに回し、
　60℃または40℃のどちらか希望の温度に設定します。
② 上の温度設定ダイヤル（黒色）を回して、希望温度を調整します。

● パイロットランプ説明
※もしパイロットランプが点灯しない場合は、コントロールユニット内のヒューズの交換が必要です。

緑色	装置のスイッチがONの時は、緑のランプが点灯します。
黄色	ボイラーの水が加熱中の時は、黄色のランプが点灯します。 ボイラー内の水温が設定温度になるとランプは消えます。
赤色	ガス不足、ガス管内の空気混入、安全装置の故障等を意味します。 欠陥を直す為に、装置のスイッチを切り、再度入れ直して下さい。 ランプが点滅している時は、サブバッテリー電圧が装置に不適合である事を示します。 ランプが1秒に1回の間隔で点滅していれば、電圧が低すぎることを示します。 ランプが1秒に2回の間隔で点滅していれば、電圧が高すぎることを示します。

リアヒーター

（詳しい取り扱いは、別紙マニュアルP．28を参照）



リアヒーターはエンジンをかけた状態で使用可能です。

●使用方法

① セカンドシートの脚元のノブを開いてバルブを開いて下さい。
② バルブは冬季の間は、開いたままで結構です。
③ エンジンを始動して、ラジエーターの水温が上がれば使用可能です。
④ ファンスイッチを右に回して風量を調節して下さい。

リアクーラー

（詳しい取り扱いは、別紙マニュアルP．28を参照）

リアクーラーはエンジンをかけた状態で使用可能です。

●使用方法

① セカンドシートの足元のノブを戻して下さい。
② エンジンを始動して、運転席のクーラースイッチをONにして下さい。
④ ファンスイッチを右に回して風量を調節して下さい。

給水・水周りの使用方法

● 給水方法

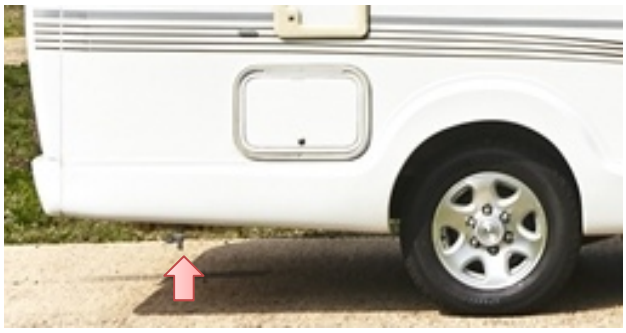
① 給水口から水道ホースで水道水を注入します。給水終了後、給水口蓋は確実に閉めて下さい。
② 給水口から溢れる迄、注入しても構いません。給水口横のエア抜き穴を塞がないで下さい。

●水周りの使用方法

① シンク等をご利用の際は、集中スイッチパネル上にある『水ポンプスイッチ』をONにして下さい。
② 蛇口から水が出るまで暫く時間が掛ります。
　配管のエア抜きの為、暫くは蛇口を開いてポンプを回して下さい。
③ ボイラー使用時には、蛇口のレバーを赤い方へ回して水が出てくる事を確認してから、ボイラーの
　スイッチをONにして下さい。ボイラー内のエア抜きの為、赤い方でも暫くは蛇口を開けておいて下さい。

※ 供給される水は水道水です。衛生上、飲食以外でのご使用をお願いたします。

排水方法



●排水方法

排水タンクが満タンになると、集中スイッチパネル内の表示ランプが点灯します。（詳細はP.6参照）
排水タンクを左側の排水口キャップを左へ回して取り外した後、レバーハンドルを引いてタンク内の
水を抜いて下さい。

ご注意ください！

満タン近くの水量のまま走行すると、シャワールーム内に排水が逆流し、シャワートレイ内が溢れる事があります。

シャワールーム・洗面台

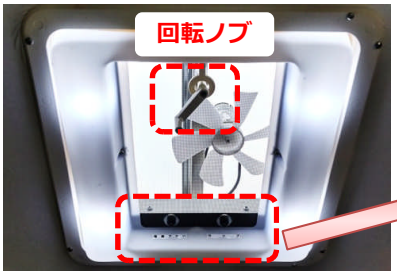
シャワールームはトイレと同じ場所になります。鏡付きの洗面台も装備されています。

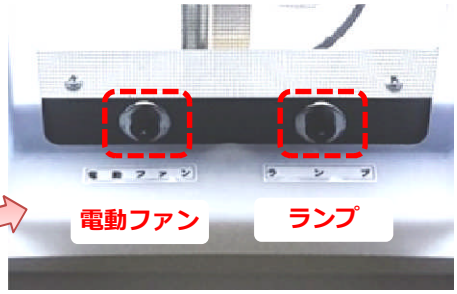
●シャワーの使用方法

① はじめに集中スイッチパネル上にある『水ポンプスイッチ』をONにして下さい。
② 蛇口から水が出るまで暫く時間が掛ります。配管のエア抜きの為、暫くは蛇口を開いてポンプを回して下さい。
③ ボイラー使用時には、蛇口のレバーを赤い方へ回して水が出てくる事を確認してから、ボイラーのスイッチをONにして下さい。ボイラー内のエア抜きの為、赤い方でも暫くは蛇口を開けておいて下さい。
④ ご使用時には必ず室内のシャワーカーテンを引いて下さい。

※シャワールーム内の扉を開くと外部シャワーとしても使用可能です。

ファン付きベンチレーター





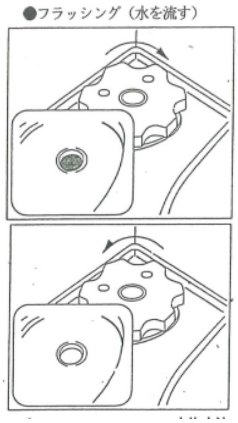
ファン付きベンチレーター（換気扇）は、シャワールームの天井と、車内室内天井の2箇所に装備されています。
●シャワールーム・天井のベンチレーター　：集中スイッチパネルの②スイッチをONにします。
●ダイネット中央・天井のベンチレーター　：集中スイッチパネルの③スイッチをONにします。

●ファン付きベンチレーターの使用方法
①回転ノブを回すと、ベンチレーターカバーが開きます。
②電動ファンとランプのスイッチをONにしてご使用下さい。

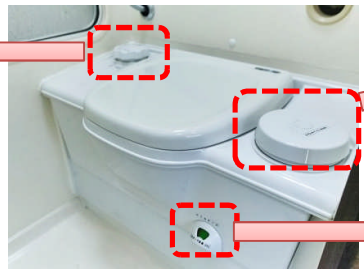
※破損防止の為、カバーを開いたままの走行はしないで下さい。
　また、カバーを閉じる際に、強く回し過ぎますとカバーが破損する事があります。

水洗トイレ（カセット式）

（詳しい取り扱いは、別紙マニュアルP．18を参照）



フラッシュノブ



トイレットペーパーホルダー

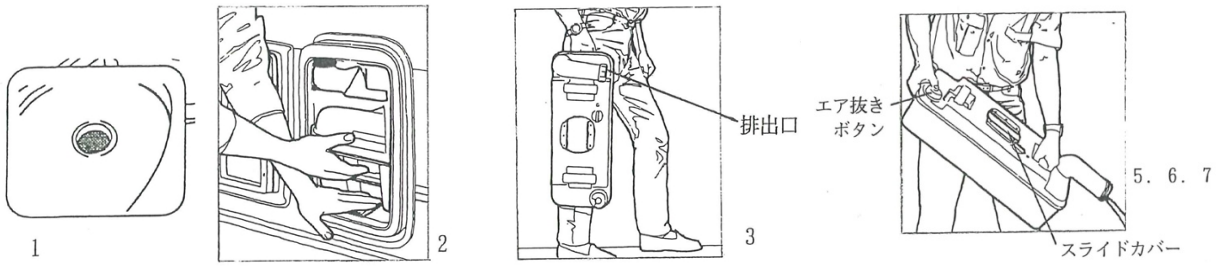
レベルゲージ

●水洗トイレの使用方法

① 水洗トイレ使用時は、集中スイッチパネル上にある『水ポンプスイッチ』をONにして下さい。
・バルブブレードの開閉方法：フラッシュノブを左に回すと開きます。右に回すと閉じます。
※ 気圧変化、気温変化の影響を避ける為、一度バルブブレード開閉してから使用して下さい。
・水の流し方：フラッシュボタンを押すと、水が流れます。
② ご使用時は、フラッシュボタンを右に回してバルブブレードを閉じた後、フラッシュボタンを押して便器に洗浄水を溜めて下さい。
③ ご使用後は、フラッシュボタンを左に回してバルブブレードを開いた後、フラッシュボタンを押して洗浄水を流し、右に回してバルブブレードを閉じます。

●汚物の捨て方

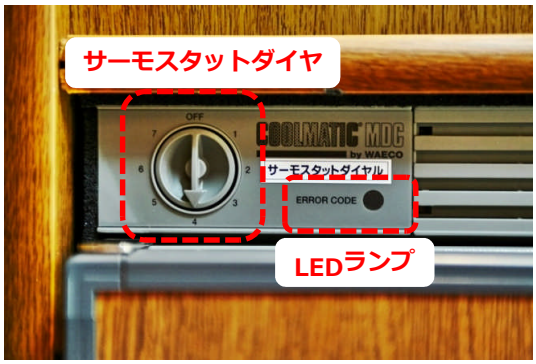
汚物タンクの容量は<u>20L</u>です。
汚物の量が、タンク容量の３／４位以上に達すると、レベルゲージが緑から赤に変わります。
赤に変わったら、早めにタンクの汚物を捨てて下さい。汚物タンクを溢れさせない様にご注意下さい。
※もし溢れてしまった際は、別紙取扱説明書のP23を参照して下さい。



① バルブブレードが閉じている事を確認して下さい。
② 車両右側の汚物タンク取出し口を開けて、黄色のストッパーを押し下げて、カセットタンクを引き出します。
③ 排出口を上に向けた状態で取っ手を持ち、排出できる場所に運びます。
タンクを置く場合は、排水口を上に向けた状態で、地面に対して垂直に立てて置きます。
④ 排出口のキャップを外します。
⑤ 片方の手で排出口の近くにある取っ手を握り、、もう片方の手で、反対側の取っ手を握ります。
⑥ 排出口が下を向いている事を確認してからエア抜きボタンを押し続けながら排出します。
⑦ 排出が終わったら、スライドカバーを排出口の方にスライドさせて取り外し、タンク内等を水できれいに洗い流します。

冷　蔵　庫

（詳しい取り扱いは、別紙マニュアルP．26を参照）



・扉を開ける時は、ノブを上に引き上げます。
・扉を閉める時は、ノブを下に押し込みます。

冷蔵庫は、DC１２Vで作動します。
※エンジンを切っている際は、サブバッテリー残量計で容量が十分な状態か確認してからご使用下さい。

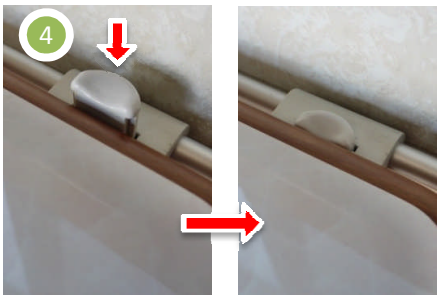
●使用方法
１ 集中スイッチパネルのＢスイッチをONにします。
２ サーモスタットダイヤルを時計回りに回してスイッチを入れます。初めは最強の７に合わせます。
３ サーモスタットダイヤルを回して温度調節をします。
※ コンプレッサーが開作動し始めるまでに60秒以上掛ることがあります。

●食料品の入れ方
１ ぎっしりと詰めないで適当な隙間を空けるようにしましょう。
　詰め込みますと、冷気の循環が悪くなり冷え不足になります。
２ 冷気の多いものや香りの強いものは包んで入れましょう。
３ 食品を十分に冷やしてから庫内に入れましょう。

ダイネット

●ダイネットの展開手順　（ 向かい合わせ → 前向き並列 ）

①向かい合わせ状態です。
②③セカンドシートのヘッドレスト２つを押し上げて外します。



④テーブル壁側にある天板を固定している２箇所のストッパーを押し下げて、固定を解除します。
⑤天板を外したら、支柱の上部にある黒い固定レバーを下側に押し下げながら支柱を折り畳みます。
⑥テーブルの取り外し完了です。

⑦⑧セカンドシートの背もたれ側面にある黒いレバーを押し下げながら、背もたれを座面とフラットになる位置に倒します。
⑨セカンドシートのもう１方のシートを側面にある黒いレバーを押し下げながら、後方側に９０度に立ち上げます。

⑩⑪座面が背もたれに変更されたら、前方に倒したもう一方のシートを側面にある黒いレバーを押し下げながら、後方に立上げ１８０℃に回転し、座面に変更します。
⑫ヘッドレストを装着して完成です。

リアベッド

●ダイネット（前向き並列）からベッドへの展開手順

①セカンドシートのヘッドレスト２つを押し上げて外します。
②③セカンドシートの車両前方側下にある黒いパイプ状のレバーを上に持ち上げながら、シートを車両前方にスライドします。

④セカンドシートの座面を側面にある黒いレバーを押し下げながら、１80℃回転します。
⑤次はセカンドシートの背もたれを側面にある黒いレバーを押し下げながら前方に90度倒します。
⑥座面と背もたれがフラットになる様に調整します。

⑦サードシートの座面を持ち上げます。
⑧足元に折りたたんである２枚のパネルを90度になる様に設置します。
⑨サードシートの背もたれのクッションを外します。

⑩⑪外したクッションをセカンドシートとサードシートの隙間に置きます。
⑫ベッドの完成です。